

2025を創る 燃える 若者になろう

学生が学生に
プロジェクトを
提案

学生発プロジェクト この指とまれ ワークショップ

実施報告

趣旨

- ▶ 近畿経済産業局は、(公社)2025年日本国際博覧会協会(以下、博覧会協会)との共催による、学生を対象としたワークショップを、2019年度に計2回開催しました。運営は(一社)未来教育推進機構(以下、UMEDAI)にご協力いただき、UMEDAIで活躍する学生の皆様にも実際の進行などの運営面でご協力いただきました。
- ▶ 第2回目は、第1回目での学習を踏まえ、若者の企画力・行動力により、万博などチャンスを活かして若者のセンスで様々なプロジェクトが実施され、関西全体が活性化することを期待し、プロジェクトメイクを考える『学生発プロジェクトこの指とまれ ワークショップ』を開催しました。
- ▶ 今回は、予めご協力いただいた4～5名の学生にプロジェクトテーマを発表いただき、それをもとにグループディスカッションを行い、2030年の姿から、実際に起こすべきアクションまでバックキャストする形で実際の「プロジェクトメイクの方法論」を検討しました。

当日の進行

Inputセミナー

万博協会から若者へのメッセージ（博覧会協会より）



この指とまれ「プレゼン」ー 学生によるProject紹介

予めご協力いただいた学生に自身の考えた

「**2025年までに関西から〇〇〇しよう大作戦！**」プロジェクトを発表いただきました。

プロジェクトの内容に加え、

プロジェクトを呼び掛けるうえで「短い制限時間内に人を引き付ける説明ができているかどうか」を基準とし、フロアからの採点も実施。



グループディスカッション

賛同するプロジェクトごとに分かれてディスカッションを行いました。

それぞれのプロジェクトを深掘していく中で実際のプロジェクトメイクの方法論を体験していただきました。

主催

近畿経済産業局
2025NEXT関西企画室
担当 石原、池田、伊藤
電話 06-6966-6003

共催

(公社) 2025年
日本国際博覧会協会

事務局

(一社) 未来教育推進機構
UMEDAI
担当 川上、西本、福田
電話 06-6312-1213

実施概要

- ▶ 実施日時 : 2020年2月24日（月祝） 13 : 30-17 : 00
▶ 参加人数 : 29名

（※当日は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで開催しました）

実施結果（アンケートまとめ） ※（ ）は回答人数

- ▶ 万博への期待について
大変高まった(12) やや高まった(16) あまり高まっていない(0) 高まっていない(0)
- ▶ 万博に関連して何か取り組んでみたいと思ったか
是非取り組んでみたい(16) できれば取り組んでみたい (9) どちらでもない (3)
あまり取り組みたくない (0) 取り組みたくない(0)
- ▶ ワークショップの感想・改善点・要望など（一部抜粋）
- ・自分が知らなかっただけで、多くの学生が様々な課題解決に向かって行動しているのだと知ることができて面白かった。
 - ・時間が短かったが、いい経験になった
 - ・今回のようなワークショップを今後も開催してほしい

実施風景



①まずは近畿経済産業局から趣旨説明



③「この指とまれ」プレゼン
学生からのプロジェクト発表



⑤気になるテーマに分かれて
グループディスカッション。
プロジェクトメイクの方法論を検討



②博覧会協会から
若者にむけてメッセージ。
積極的な学生の質問で、
質疑応答が大変盛り上がりしました



④「3分」という短い時間で
「人を動かすプレゼン」
にチャレンジします



⑥再度検討したアイデアを発表
全体ディスカッションを行いました